

2015年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気電子工学科						
科目名	シミュレーション						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(応用エレクトロニクスコース)/必修科目(エネルギー・環境コース)/必修科目(情報通信コース)						
担当者	白土 浩 Hiroshi SIRATSUCHI						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションの必要性や効果、限界を説明できる。 ・シミュレーションツールを使って、基本数学関数の描画や微分・積分等の数値計算ができる。 ・シミュレーションツールを使って、数値計算結果を分かりやすく視覚化できる。 ・位相と時間遅れの関係や振幅と実効値の違いを説明できる。 						
日程と内容	09月17日	シミュレーション概説					
	09月26日	各種数学演算とExcel					
	10月03日	Excelによるグラフ描画					
	10月15日	乱数とは？					
	10月17日	Excelを使った乱数生成					
	10月24日	三角波・ノコギリ波・正弦波					
	10月31日	円を描画する					
	11月07日	MOD関数を用いた波形描画					
	11月14日	微分の概念					
	11月21日	微分の近似計算方法					
	11月28日	微分の近似計算演習					
	12月05日	積分の近似計算方法					
	12月12日	積分の近似計算演習					
	12月19日	総合演習 1					
	01月16日	総合演習 2					
	01月23日	定期試験					
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	10%				100%	
授業到達目標の達成度	概ね目標は達成できたと考える。						
反省点	例年1年次向けのコンピュータ科目については授業教科アンケートの総合評価が低い傾向がみられる。原因としては、出来る学生にとっては進行が遅く感じ、理解が進まない学生にとっては講義が全く理解できないという点、試験を含む殆どでコンピュータ演習が必須となっている点が考えられる。これらの点の改善に向けて講義方法の検討を続けていきたいと考える。						
来年度の計画	今年度から初等信号理論と分離した講義が始まり、演習時間の確保が難しさが顕著になった。来年度は科学的問題解決法などの講義と連携した演習実施について検討の必要がある。						
授業評価アンケートに対するコメント	自由記述欄に記載のあった内容については個別回答し、学科掲示板に掲示している						
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	60名	合格者数	51名	合格率	85%